

LESSON NOTES

Advanced Audio Blog S4 #9 Top 10 Japanese Authors: Shiba Ryoutaro

CONTENTS

- 2 Kanji
- 3 Kana
- 4 Romanization
- 5 English
- 7 Vocabulary
- 7 Sample Sentences
- 8 Grammar

9

KANJI

1. 司馬遼太郎
2. 近年、日本では歴史上の人物を愛好し、その人物にまつわる書籍を読んだり縁の地を尋ねたりする女性が増えています。いわゆる「歴女」（れきじょ;2009年頃から使われている造語）ですが、男性にも根強い人気がある歴史小説。特に、ファンの多い歴史小説家といえば司馬遼太郎です。
3. 直木賞を受賞した『梟（ふくろう）の城』を初め、『竜馬がゆく』『坂の上の雲』など代表作を選ぶのに苦労するほど、その作品の多くが長く愛読されています。
4. また、彼の作品は映像化されることが多いのも特徴。それだけ、脚本家や演出家が原文からイメージを掻き立てられる小説なのです。
5. 司馬の描く人物は、それがこの世にはもういない過去の人であることを忘れさせるほど生き生きとしていて、読後、誰もがその人物を好きになります。さらに、教科書には名前すら上がらない人物を取り上げ、愛情をもって描くところも多く、ファンを集めています。
6. 織田信長や豊臣秀吉、徳川家康、そして坂本竜馬や西郷隆盛など日本語を学んでいる皆さんであれば聞いたことがあるでしょう。これらの日本史上の代表的な人物は、複数の作品に登場しています。現在の日本を形作った「偉人」が、どのような人生の分岐点でどのような選択・行動をしたのか…。それを知ることが、日本や日本人を理解する上で大変、役に立つことでしょう。
7. まずは、名前だけでも知っている人物が出てくる作品から読み始めると一層、司馬の描く日本の歴史を楽しむことができますよ。
8. 1923年8月 大阪府に生まれる
9. 1996年2月 享年72歳
10. 代表作 『梟の城』

CONT'D OVER

11. 『竜馬がゆく』
12. 『坂の上の雲』

KANA

1. しばりょうたろう
2. きんねん、にほんではれきしじょうのじんぶつをあいこうし、そのじんぶつにまつわるしよせきをよんだりゆかりのちをたずねたりするじよせいがふえています。いわゆる「れきじよ」（れきじよ;2009ねんごろからつかわれているぞうご）ですが、だんせいにもねづよいにんきがあるれきししょうせつ。とくに、ファンのおおいれきししょうせつつかといえばしばりょうたろうです。
3. なおきしょうをじゅしょうした『ふくろうのしろ』をはじめ、『りょうまがゆく』『さかのうえのくも』などだいひょうさくをえらぶのにくろうするほど、そのさくひんのおおくがながくあいどくされています。
4. また、かれのさくひんはえいぞうかされることがおおいのもとくちょう。それだけ、きやくほんかやえんしゅつかがげんぶんからイメージをかきたてられるしょうせつなのです。
5. しばのえがくじんぶつは、それがこのよにはもういないかこのひとであることをわすれさせるほどいきいきとしていて、どくご、だれもがそのじんぶつをすきになります。さらに、きょうかしよにはなまえすらあがらないじんぶつをとりあげ、あいじょうをもってえがくところもおおくのファンをあつめています。

CONT'D OVER

6. おだのぶながやとよとみひでよし、とくがわいえやす、そしてさかもとりょうまやさいごうたかもりなどにほんごをまなんでいるみなさんであればきいたことがあるでしょう。これらのにほんしじょうのだいひょうてきなじんぶつは、ふくすうのさくひんにとうじょうしています。げんざいのにほんをかたちづくった「いじん」が、どのようなじんせいのぶんきてんでどのようなせんたく・こうどうをしたのか…。それをすることは、にほんやにほんじんをりかいするうえでたいへん、やくにたつことでしょう。
7. まずは、なまえだけでも知っているじんぶつがでてくるさくひんからよみはじめるといっそう、しばのえがくにほんのれきしをたのしむことができますよ。
8. 1923ねん8がつ おおさかふにうまれる
9. 1996ねん2がつ きょうねん72さい
10. だいひょうさく 『ふくろうのしろ』
11. 『りゅうまがゆく』
12. 『さかのうえのくも』

ROMANIZATION

1. Shiba Ryōtarō
2. Kinnen, Nihon de wa rekishijō no jinbutsu o aikō shi, sono jinbutsu ni matsuwaru shoseki o yondari yukari no chi o tazunetari suru josei ga fuete imasu. Iwayuru "rekijo" (rekijo;2009-nen goro kara tsukawarete iru zōgo) desu ga, dansei ni mo nezuyoi ninki ga aru rekishi shōsetsu. Toku ni, fan no ōi rekishi shōsetsuka to ieba Shiba Ryōtarō desu.

CONT'D OVER

3. Naokishō o jushō shita "fukurō no shiro" o hajime, "Ryōma ga yuku" "saka no ue no kumo" nado daihyōsaku o erabu no ni kurō suru hodo, sono sakuhin no ōku ga nagaku aidoku sarete imasu.
4. Mata, kare no sakuhin wa eizōka sareru koto ga ōi no mo tokuchō. Soredake, kyakuhonka ya enshutsuka ga genbun kara imēji o kakitaterareru shōsetsu na no desu.
5. Shiba no egaku jinbutsu wa, sore ga kono yoni wa mō inai kako no hito de aru koto o wasuresaseru hodo ikiiki to shite ite, dokugo, dare mo ga sono jinbutsu o suki ni narimasu. Sara ni, kyōkasho ni wa namae sura agaranai jinbutsu o toriage, aijō o motte egaku tokoro mo ōku no fan o atsumete imasu.
6. Oda Nobunaga ya Toyotomi Hideyoshi, Tokugawa Ieyasu, soshite Sakamoto Ryōma ya Saigō Takamori nado Nihongo o manande iru mina-san de areba kiita koto ga aru deshō. Korera no Nihonshijō no daihyōteki na jinbutsu wa, fukusū no sakuhin ni tōjō shite imasu. Genzai no Nihon o katachizukutta "ijin" ga, dono yō na jinsei no bunkiten de dono yō na sentaku, kōdō o shita no ka.... Sore o shiru koto wa, Nihon ya Nihonjin o rikai suru ue de taihen, yaku ni tatsu koto deshō.
7. Mazu wa, namae dake de mo shitte iru jinbutsu ga detekuru sakuhin kara yomihajimeru to issō, Shiba no egaku Nihon no rekishi o tanoshimu koto ga dekimasu yo.
8. 1923-nen 8-gatsu Ōsakafu ni umareru
9. 1996-nen 2-gatsu kyōnen 72-sai
10. Daihyōsaku "fukurō no shiro"
11. "Ryōma gayuku"
12. "saka no ue no kumo"

ENGLISH

CONT'D OVER

1. Ryōtarō Shiba
2. In recent years in Japan, women who love historical figures and who do things such as read books related to them and visit places linked to them are on the increase. These women are known as "rekijo" (a coined word that has been in use since about 2009) or "history girls," but historical novels also enjoy a deep-seated popularity with men. A writer of historical novels with a particularly large number of fans is Ryōtarō Shiba.
3. Beginning with "The Castle of an Owl," which won the Naoki Prize, and continuing with "Ryōma Moves Ahead," "Clouds Over the Slope," and more, the majority of his works have been so well loved for such a long time that it is difficult to choose his best-known work.
4. Furthermore, another distinguishing feature of his works is that many have been made into films. This shows how much his novels have the power to stir the imagination of screenwriters and producers.
5. Shiba's characters are so lively that you can easily forget that they are people of the past who no longer exist in this world. After reading about them, anyone would grow to love them. Furthermore, Shiba's technique of featuring people whose names don't even come up in textbooks and writing about them with affection has also brought him many fans. You who are studying Japanese will have heard of Nobunaga Oda and Hideyoshi Toyotomi, Iyasu Tokugawa, Ryōma Sakamoto, Takamori Saigō, and so on. These prominent figures of Japanese history are featured in multiple works. What kinds of decisions or actions did the "great men" who built modern Japan make, and at what kinds of crossroads in their lives? Knowing this surely plays an important role in helping us to understand Japan and the Japanese.
6. If you first begin by reading one of his works that features someone about whom you only know their name, you will be able to enjoy the picture of Japanese history painted by Shiba even more.
7. August 1923, born in Osaka prefecture
8. February 1996, died at age seventy-two

CONT'D OVER

9. Best-known works are "The Castle of an Owl," "Ryōma Moves Ahead," and "Clouds Over the Slope"

VOCABULARY

Kanji	Kana	Romaji	English
根強い	ねづよい	nezuyoi	deep-rooted, deep-seated, persistent
受賞する	じゅしょうする	jushō suru	to be awarded a prize, to win a prize
脚本家	きゃくほんか	kyakuhonka	screenwriter
演出家	えんしゅつか	enshutsuka	producer
掻き立てる	かきたてる	kakitateru	to stir up, to provoke, to excite
生き生きとしている	いきいきとしている	ikiikitoshiteiru	lively, energetic
一層	いっそう	issō	even more, continued

SAMPLE SENTENCES

<p>このサッカーチームは根強い人気がある。 <i>Kono sakkā chīmu wa nezuyoi ninki ga aru.</i></p> <p>This soccer team has a deep-seated popularity.</p>	<p>彼は、去年ノーベル経済学賞を受賞した。 <i>Kare wa kyonen nōberu keizaigaku shō o jushō shita.</i></p> <p>He won the Nobel Prize for Economics last year.</p>
<p>ドラマの脚本家になりたい。 <i>Dorama no kyakuhonka ni naritai.</i></p> <p>I want to be a drama screenwriter.</p>	<p>演出家にスカウトされた。 <i>Enshutsuka ni sukauto sareta.</i></p> <p>I was scouted by a producer.</p>

その映画は、想像力を掻き立てる作品だ。
Sono eiga wa sōzōryoku o kakitateru sakuhin da.
The movie is a work which excites the imagination.

漫画家が書いた動物は生き生きとしている。
Mangaka ga kaita dōbutsu wa ikiikitoshiteiru.
The animals drawn by the cartoonist are lively.

ダイエットしたが、リバウンドしたのでより一層太って見える。
Daietto shita ga ribaundo shita node yori issō futotte mieru.

I went on a diet, but I gained back the weight, so I look even fatter.

GRAMMAR

Natsuko: オーディオブログ第四シーズン第9課 司馬遼太郎

Yuichi: こんにちは ゆういちです

Natsuko: なつこです。このレッスンで紹介する作家は誰でしょうか？

Yuichi: 司馬遼太郎です。 **Natsuko:** どんな作家なのでしょう。では、聞いてみましょう。

Natsuko: さて、いかがだったでしょうか。今までの1課から8課までのブログに比べると、少しわかりやすい内容だったかもしれませんね。

Yuichi: そうですね。ところで今回のブログの中で、「歴史上の人を好きになって、その人に関する本を読んだりその人と関係する場所に行ったりする女の人が増えている・・・」って言っていましたね。

Natsuko: はい。「歴史」の「レキ」に「女」という漢字の「ジョ」をつけて、「歴女（レキジョ）」と言われているみたいですね。これ新しい言葉みたいなんですけどね。

Yuichi: なつこさんは、この「歴女」という言葉は聞いたことはありましたか？

Natsuko: はい。あの、「私歴女なの！」という人にはあった事がないんですけど、でも、あの、メディアでよく使われていますよね。

Yuichi: そうですね。実はこの「歴女」という言葉、Lower Intermediateのシーズン5レッスン22で紹介していますので、そちらの方も、リスナーの皆さんで、興味があったら是非聞いてみてください。

Natsuko: あ、そうなんですか。さすが、JapanesePod101ですね。

Yuichi: ちゃんと、流行を追っていますからね。あとこの「歴女」という人達は、ゲームとかNHKの大河ドラマがきっかけで、歴史が好きになったってひとが多いみたいなんですよ。

Natsuko:なるほど。NHKの大河ドラマは結構面白いですからね。

Yuichi:はい。そうですね。ちなみに、大河ドラマというのは、一年間ずっところう・・・放送されているNHKの歴史ドラマのことですね。

Natsuko:日本に住んでいるリスナーの方の中には見たことある人もいます。関東地方では毎週日曜日の8時から40分間放映しています。

Yuichi:子供からお年寄りまで人気のあるドラマシリーズです。で、この、大河ドラマでは、司馬遼太郎の小説が一番多くドラマ化されているらしいですよ。

Natsuko:はあー。なるほど。そうなんですか。ところで、Yuichiさんは、司馬遼太郎の小説を読んだことはありますか。

Yuichi:これは、日本人としてちょっと恥ずかしいと思うんですけども、実は一度も読んだことがないんです。

Natsuko:いや、恥ずかしいことはないと思うんですけどね。

Yuichi:でも、これから、10年以内には絶対司馬遼太郎の作品は読みたいなと思っています。実は、既に本を買ってあるんですけども…。例えば、もう『坂の上の雲』っていうのは三年以上前ですかね、はい。買っておいてあります。

Natsuko:なるほど。長いですからね。じっくり読まないといけなかな・・・という感じですよ。

Yuichi:そうですね。時間があるときに読みたいと思います。なつこさんは、司馬遼太郎の小説を読んだことはありますか？

Natsuko:あ、はい。今、ゆういちさんがおっしゃった、『坂の上の雲』とか、あとは、『竜馬が行く』とか、長編はいくつか読んでますね。

Yuichi:あと、僕は、大河ドラマの方もあまり観たことがないので、是非観たいと思いますね。

ま、でも、基本的に先に原作の本を読んでから、大河ドラマを観たらいいかなあ思っています。ま、自分で、本の中だと、登場人物のことを想像できると思うんですけども、で、この、想像しつつ、ま、ドラマを観るっていうと、俳優さんたちの演じる役っていうのイメージっていうのあわせながら考えると、面白いかなーって。

Natsuko:確かにそうですね。逆に先にドラマを観ちゃうと、小説を読むときに、どうしてもその人の顔しか浮かばない・・・とかありますよね。

Yuichi:そうですね。ところで、今この、文字で読んだものを実際に、映像で観たりとか、その逆っていうことも、色々話していたんですけども、外国語を勉強するときにはとっても効果的だと思いますね。

Natsuko:ああ、なるほど。つまり、原作であらすじを知っていて、ドラマを観る・・・こうすると、いっそう分かりやすくなるから・・・ってことですね。

Yuichi:そうですね。で、また、小説だけではわからなかった、こう、「話し方」とか、あの、「見ため」というのも、まあ、ドラマでは、こう、すごい分かりやすくなると思いますから。

Natsuko: そうですね。その通りだと思います。ところで、ちょっと長くなりますけど、ゆういちさんは、今回も司馬遼太郎について何か調べてきてくれたんですね？

Yuichi: はい。もちろんです。司馬遼太郎は、実は、もともと、作家ではなくてですね、新聞記者をしていたそうです。で、30代に作家に転向したそうです。

Natsuko: あ、意外と遅いんですね。

Yuichi: はい。で、まあ、ある作品を一つ書くときに 資料をとにかく大量に集めたそうです。

Natsuko: うーん。まあ、いろいろなことを調べないと、歴史小説はかけないでしょうからね。

Yuichi: はい。それがですね、何千万円と資料にお金を使ったそうなんですよ。

Natsuko: え・・・そんなに！

Yuichi: ま、たとえば「坂の上の雲」っていうのは、日本とロシアの、日露戦争が、まあ、舞台なんですけども、司馬遼太郎が、この作品を書くために、ま、資料を買いある古本屋の町からですね、全部買いあさって、もう、日露戦争の資料がまったく消えてしまった...って言われているほどなんです。

Natsuko: はあー！すごいですね。スケールが違いますね。あの、今みたいに、インターネットで調べる事ができなかった時代ですから、やっぱり、本を買って、調べてたんですね。なるほど。名作の影にはそういう地道な下調べがあったんですね~。

Yuichi: で、まあ、司馬遼太郎の小説は長いものが多いですけども、時間がなくて読めない・・・という人は、大河ドラマを観てみるのもいいと思います。

Natsuko: そうですね。それでは、今回は、この辺で。 **Yuichi:** 次回も是非聞いてください。さようなら。